

# サムライズム2009

（きやすと）

団蔵（何でも屋を生業とする凄腕の剣客）

半助（笹谷村の若者）

芯吉（笹谷村の若者）

山爺（笹谷村の翁）

金居吉継（笹谷村の村役人）

里見民部（最上家家臣）

馬乃進（野党の一味）

鹿衛門（野党の一味）

不動（謎の剣客）

零場

和太鼓の音が鳴り響く。緞帳上がる。  
メインキヤストは、山爺、団蔵、不動を除き、やぐらに座つて  
いる。

山爺 慶長八年一六〇三年

最上五十七万石によって治められる出羽の国  
戦乱の世も終りを告げ  
誰もが平和の訪れを予感した

しかし

団蔵にトップ当たる。

山爺

刀は確かにこの世に在つて  
刃は人の心を断つ  
命はあまりに脆すぎて  
その重さに

団蔵に文を渡して去る吉継の密偵。

団蔵の背後から、得物を手に近づく野党。

野党

ヒヤッハーツ!!

野党が斬りかかった瞬間、団蔵、柄に手をかける。(団蔵スポ  
ット暗転)  
― 斬撃音。

山爺 気付かない

刀を手に立つ不動。斬撃音とともに不動を囲んでいた野党二人  
がはけていく。  
竹槍を持った笹谷村の村人登場。  
不動、後ずさり。

村人 ひ、人殺しー!!

村人 む、村から出ていけー!!

村人 笹谷村から出ていけー!!

村人の竹槍が不動に向かって突き立てられる。  
倒れた不動に、山爺、羽織を見せる。

不動

山爺 ……(頷く)

不動、羽織を受け取り、抱きかかえる。

やぐらに座ったキヤスト、刀で地を叩いて鳴らす。

和太鼓も加わり、その音は徐々に激しさを増す。

山爺

命を奪えと生み出され

鍛えられた刀の形

されどそれを使うは人

二つと同じ

団蔵は腕に赤い布を巻き、不動は羽織を着る。  
団蔵が刀を掲げた瞬間、無音に。

山爺 在り様無し  
全員 (団蔵が刀を振り下ろすと同時に) はっ!!

暗転。和太鼓の激しい音。

「笹谷事件」をイメージした、音楽に合わせた立ち回り。  
逃げ惑う笹谷の村人たち。

団蔵登場。村人を次々を斬る。

山爺、最上兵、不動(羽織 ver.) 登場。

不動、やぐらから飛び降り、団蔵と対峙。

半助、芯吉登場。啞然と見渡す。

不動、止めようとする最上兵を斬る。

吉継、民部登場。吉継の高笑いが木霊する。

まったく同じ動きで斬り合う団蔵と不動。

馬之進、鹿衛門登場。あたりの惨状に驚く。

二たび同じ動きで斬り合う団蔵と不動。数合斬り合った末、距離をとって対峙。

和太鼓の音、最高潮へ。

瞬間、団蔵と不動の体が交差する。

和太鼓止み、暗転。

一場

半助登場。メモ片手に話す。

半助 ついに辿り着いたぞ・・・！ここが、大魔王の城か！

忠吉登場。

忠吉 フハハハハ！！よくぞここまで来た！勇者半助！

半助 貴様が、大魔王忠吉か！

忠吉 いかにも！

半助 よくも人々を苦しめ！世界から平和を奪ったな！

忠吉 世界は、この大魔王忠吉が支配する！！

半助 そんなことは、この俺がさせない！！

忠吉 フハハハハ！！面白い！！ならばやってみるがよい勇者半助

よ！その中ボスを倒すことが出来たならば、そのときはこの大魔王忠吉が相手となろう！！

山爺登場。

山爺 中ボスです

半助 世界の平和は、俺が守る！！行くぞ！！おおお！！

半助、山爺をあつさり倒す。

半助 大魔王覚悟！！！！おおお！！

忠吉 ちよっ！痛い痛い！ストップストップストップ！！！！半兄！！

半助 何だ忠吉！？

忠吉 何回言ったらわがんだず！？

半助 何！？

忠吉 何でいきなり中ボスに勝っちゃまうんだず！

半助 どこ間違っていたか？

忠吉 半兄はヒーローってもんばわがってね！

半助 ひーろー？

忠吉 最初からスペシウム光線ば撃つウルトラマンがいつか？しょ

っぱなからでライダーキックばキメる仮面ライダーがどこにい

んだず！？いねべ！？

半助 いやしかし・・・

忠吉 ただ勝てばいいならさっさと合体ロボさなって踏み潰せばいい

んだがら！でもそうじゃねえんだず！！

半助 だが忠吉私たちは・・・！！

忠吉 俺だはヒーローさならんんだず！笹谷村ば救うってことは

つまりはそういうことだ。山爺申し訳ねえ。半兄がホント申し訳

ねえ

山爺 ・ ・ ・ チツ

山爺はける。

半助 ・ ・ ・

忠吉 半兄（拳を突き出す）

半助 む？

忠吉 これも教えたべ！

忠吉、半助の拳を取り、自分の拳と打ち合わせる。

忠吉 ヒーローはかっこよく、キメる！な！？

半助 わ、わかった

団蔵登場。

苾吉 世界は、この大魔王苾吉が支配する！！

半助 それ、そんなことは、この俺がさせない！！

苾吉 フハハハハ！！面白い！！その中ボスを倒すことが出来たならば、そのときはこの大魔王苾吉が相手となるう！！

山爺登場。

山爺 中ボスです

半助 世界の平和は、俺が守る？行くぞー？うおおお

苾吉 と立ち向かう勇者そして〜？

半助 え、えーい

苾吉 しかし攻撃は当た・・・？

半助 あゝ

苾吉 ・・・・らない！しかも！

山爺 おらあ！！

半助 痛い！ホントに！ぎゃああああ！

苾吉 メッタ打ちで勇者ピーンチしかしそれでも！？

半助 く、くっそー

苾吉 立ち上がるはいそこで！

半助 こ、こうなったら、あの必殺技を使うしかない！

苾吉 そう！

半助 喰らえ必殺！

苾吉 行けー勇者ー！！

半助 うおおお！！

団蔵、山爺を斬る。

半助&苾吉 ああああああああ！？

山爺倒れる。

半助 き、ききき、貴様ー！？

団蔵 え？

半助 何をやってるのだ！？

苾吉 うわああ山爺いー！？

団蔵 だって悪者なんだろう？そういう仕事だって聞いて来たんだけど

半助 仕事って何だ！誰だお前は！よく見ろ！

苾吉 うわああああん山爺いー！！

団蔵 中ボスのために涙を・・・。確かに悪い大魔王じゃ・・・

半助 そうじゃない！

団蔵 じゃあ何なんだよ？

半助 リハーサルだ！！

団蔵 ・・・・リハーサル？？

半助 そうだ！

団蔵 何のリハーサル・・・

警鐘が鳴り響く。

団蔵 何だ？

苾吉 半兄！

半助 ・・・・行くぞ、苾吉！

団蔵 え、おい！

馬乃進、鹿衛門、作物を抱え登場。

馬 (袖に向かつて) よーし野郎共!!  
鹿 今日もド派手に暴れようぜ!

鹿衛門、団蔵にぶつかる。

鹿 行って! おいおめえケンカ売ってんのか! 見る腕折れちまった!

馬 ほほ、本当か!?

鹿 いや嘘だけど

団蔵 なるほどリハーサルか

鹿 リハーサル?

団蔵 お前何役だ? まあどうみても・・・

半助 邪魔だどけ! (団蔵を突き飛ばし) おい貴様ら!

苾吉 そいづは、俺だの大切な作物だ!

半助 そこに置いて、さっさと失せろ!

団蔵 そうだそうだ

野党、ぞろぞろと登場。

半助と苾吉を取り囲む。

団蔵 おー、ぞろぞろ出てきやがった。行けー勇者と大魔王ー  
半助 ……つ。も、もう一度言う! 作物だけ残して山に帰れ!!

野党、顔を見合わせる。

馬之進、荷を投げ捨てる。

苾吉 ああっ! (拾おうとする)

苾吉、背後から野党に足蹴にされる。

半助 苾吉!

半助、同じく足蹴にされる。

嘲笑う野党。

半助の一太刀。野党の体すれすれで空を斬る。

野党達 ……(顔を見合わせる)

野党、各々抜刀。

馬 無茶した。パンピーがどうなるか・・・

鹿 教えてやるよ・・・

苾吉 半兄・・・!

半助 くそ・・・!

鹿 おおおお!!

野党の刀が一斉に振り下ろされる。

しかし全ての刀が団蔵の刀に受けられ、押し戻され、弾かれる。

馬 貴様!?

鹿 何のマネだおめえ!

団蔵 どうやら、間違いねえみてえだな

馬 何だと?

団蔵 出羽の国、笹谷村。暴れる野党。やっとな仕事が出来るともんだ

鹿 ふざけやがって。一体何モンだ!!

団蔵 俺か? 俺は何でも屋・・・団蔵だ

殺陣。

団蔵、あつという間に野党たちを斬り伏せる。  
逃げ出す野党。鹿衛門、奪った作物を拾おうとするが、団蔵と目が合い、怯えて逃げる。

半助 お、お前は・・・  
吉継 大丈夫ですかー!?

吉継登場。

吉継 ああ、ご無事でしたか

芯吉 金居様!

吉継 また野党が・・・

半助 ひどくやられました・・・

吉継 お二人の命があっただけでも。しかし、また犠牲が出てしまいましたか・・・

一同、倒れた山爺を見つめ、次いで団蔵を見る。

団蔵 え？ちよつ、待つ、違う！いや違わねえけど！俺が斬ったのは中ボスであつて、その爺さんじゃ・・・！悪者だつて言うし、職業柄仕方なく・・・！

山爺 なるほどな（起き上がる）

一同 うわあああああ！?

山爺 ・・・・死んだふり☆。カラスの濡れ羽を想わせる、異形の黒髪。

近頃評判の何でも屋、団蔵か

吉継 団蔵・・・!?

半助 どうかされましたか金居様？

吉継 いえ・・・

団蔵 剣の仕事が専門だ。この文を（ふみ）貰って来た  
手紙を受け取り、皆で覗き込む。

半助 『Dear 団蔵様』  
一同 ・・・・

芯吉 『突然のお手紙、ごめんなさい。一目見たときから、団蔵様のことと忘れられません。』

吉継 『貴方を想うと、苦しくて夜も眠れません。』

山爺 『この想いを受け取って貰えるなら、出羽の国、笹谷村まで来て下さい。待ってます。』

半助 『P.S.村が野党に襲われて困っています。よかつたら助けて下さい。』

吉継 ・・・・ラブレター、のようでもありますが

芯吉 下駄箱！  
山爺 机の中！

団蔵 とにかくここが笹谷村で、野党に難儀してんだらう？

芯吉 村ば、救ってけるのか・・・!?

団蔵 仕事だぜ？貰えるだけの報酬は貰う。それで構わねえなら

半助 必要ない

芯吉 半兄・・・

半助 これは笹谷村の問題だ。よそ者に手出しをされる筋合いはない

芯吉 ちよ、半兄そんな・・・!

吉継 ふむ。少しよろしいですか

芯吉 金居様？

吉継 助けて下さるのであれば、私として嬉しい限り。しかし、何でも屋団蔵。もっとう、裏の仕事が専らの方かと

団蔵 じゃあ聞くが、俺が裏の人間として、なんであんたみてえな村役人が知ってたんだ？ついでにその爺さんも

山爺 わしは村一番の物知り爺さん山爺。わしにわからんことは無い！  
田舎者には、人を斬る仕事と聞くとどうも・・・。もう少し世に知られた者として、自覚を持たれたれては？

団蔵 ・・・けつ、人斬りじゃねえ、剣の仕事だ。それにこの仕事、裏の臭いってんならブンブンしてるぜ

半助 何だと？

芯吉 あの、それは、どういう・・・？

団蔵 野党を見て気付かなかったか？賊が持つにしちやあ得物（えもの）が揃い過ぎだ。おまけにそのどれもが刃毀（はこぼ）れ一つしてねえ新品と来てる

山爺 何でも屋。それはつまり

団蔵 誰かが、武器を流してることだ

吉継 なんと・・・

団蔵 まあ確かめてみりゃあ分かることだ。野党のアジトはどこにあるんだ？

山爺 聞いてどうする？

団蔵 決まったら。正面から乗り込んで、あとはまあ・・・ハッ（不敵な笑い）

半助 だから、よそ者の力など借りぬと・・・！

吉継 ははははは。まったく心強い限り

芯吉 金居様？

吉継 情けない話ですが、期待せずにはいられませんね（はげようとする）

半助 金居様！

団蔵 おいあんた

吉継 ・・・何か？

団蔵 らしくねえんだよなあ。村役人だからって村を氣遣う謂われがどこにある？

芯吉 そりやあ決まってるつづ！

半助 金居様は、仁徳溢れるすばらしいお方だからだ！

団蔵 俺をお縄にしなくていいのかよ？人を斬る仕事もしてるぜ？

吉継 笹谷村を救って下さるのであれば、喜んで目をつむりましょう。野党からも、不動からもね

団蔵 不動？

吉継 どうか、よろしくお願いいたします

半助 金居様！あんな浪人くずれに・・・！

吉継 わかっています

半助 え？

吉継 お気をつけ下さい・・・

半助 ・・・？

吉継はける。

団蔵 何か勘違いしてるみてえだから教えとく

半助 何だと？

団蔵 俺が選んだ仕事は何でも、俺のやり方でやる何でも屋。そういうスタイルでやらしてもらってる

半助 都合のいい何でも屋だな

団蔵 ああ。でもお前依頼主じゃねえだろう？何考えようと知ったこつちやねえが、邪魔だけはすんな。以上だ

半助 ぶざけるな！ここは私たちの村だ。勝手が許されると・・・！

意を決したように勢いよく団蔵の前に飛び出す芯吉。

苳吉 団兄！頼む！俺も連れでつてける！

団蔵 ……あ？

山爺 こら苳吉！

半助 お前何を言っている！

苳吉 団兄の強さにシビれちまった！俺も村の為に戦いたい！頼む団兄！

団蔵 今まで耳塞いでたのかお前は！兄貴なんて呼ぶんじゃねえ！

苳吉 『桃太郎』だってお伴連れてつしよ

団蔵 愛読書は『泣いた赤鬼』だ！

苳吉 そこばなんとか！

半助 苳吉！！

苳吉 ……っ！

半助 忘れたのか！？笹谷村は、私とお前、二人の力で守る！そう決めたはずだ！それをお前は……！

団蔵 よう、旅行か？

大きな荷物を背負った村人二人登場。

半助 おい！

苳吉 その荷、どうしたんだず

村人 ……

半助 お前達も、村を捨てるのか……

苳吉 え！？ちよつと待ってけるず！これで何人目だ！？

半助 それでも、笹谷村の人間か！

村人 ……

苳吉 苦しいのはわがっず！でももうちよつとだけ待ってける！村ば

救ってけるつてお方が……！山爺も何か言つてける！！

村人 ……（うつむく）

半助 何故そうやって目をそらすのだ……！何故戦おうとしないのだ！！

山爺 半助！苳吉！

半助 何故だ山爺！！

苳吉 おい、待ってける！

山爺に会釈をして、はける村人。

山爺 気持ちは分かる。しかし気付いているのだろう。お前たちの腕で

は……

半助 山爺……あんたそれで利口なつもりか

苳吉 半兄っ

半助 正しいつもりか！もともと村の人間ではない山爺にはわからないだろうが……！

苳吉 半兄！！

山爺 ……

団蔵 ……。付き合い切れねえなあ。ヒーロー気取りのガキにはよ

半助 何？それはどういう意味だ！

団蔵 覚悟が半端だつて言つてんだ。さっきのへつぱり腰を見りやあわ

かる。若気の至りでやんちゃしてつと、取り返しつかねえことにな

なるぞ

山爺 おい、何でも屋……

半助 半端な覚悟だと……！？

団蔵 あ？

苳吉……やはりどうあつても、こいつに村を頼むなど出来ん！！

（はける）

苳吉 半兄！！（野党の捨てていった荷を拾いつつ、半助を追つてはけ

る）

団蔵 あゝあゝ。いるんだよなあ、ああいう・・・  
山翁 団蔵  
団蔵 あん？  
山翁 隙あり！！（カンチョウ）  
団蔵 （悶絶して倒れる）な、何しやがる・・・！？  
山翁 むかーしむかし  
団蔵 ・・・・！？  
山翁 十年ほど前のこと  
団蔵 わりと最近じゃねえか・・・  
山翁 この村は、今とは全く別の人間が住んでいた。今ここに住む者は  
後から越してきた者ばかり。何故だかわかるか？  
団蔵 ・・・・！  
山翁 かつてこの村は、一夜にして滅んでいる・・・。  
団蔵 たった一人の謎の剣客の手によって  
山翁 ・・・・  
山翁 と、思われていたが生き残りがいた。偶然山に出ていて難を逃れ  
た。それが、半助と苳吉だ  
団蔵 ・・・・！！  
山翁 あいつらにはあいつらなりの覚悟があるのも確か。気持ちを汲ん  
でやれ、とまでは言わんが・・・  
団蔵 俺には関係ねえ話だ。柱に縛り付けるでもして、しかと見張って  
おくんだな・・・  
山翁 何故この仕事を選んだー？  
団蔵 ・・・・？  
山翁 仕事は自分で選ぶんだろう？何故、笹谷村だ？  
団蔵 ・・・・  
山翁 一つ言い忘れたことがあった  
団蔵 ・・・・？

山翁 不動に、気をつける  
団蔵 また不動か。何なんだそいつは  
山翁 刀の刃を想わせる、鉛色の髪。山に棲み、皆が恐れている剣客だ  
団蔵 ・・・・  
山翁 どうした？  
団蔵 いや、まさかな・・・。何でもねえ  
山翁 もう一度言う・・・不動に、気を付ける  
団蔵 ・・・・けっ  
走ってくる民部と、団蔵ぶつかる。  
転ぶ民部、その拍子に持っていた風車を壊す。  
民部 （風車を見て）ああーっ！？  
団蔵、無言で風車を奪い、直して民部に返す。  
民部 ・・・・。苦しゅうない！！  
民部はける。  
それを見送り、団蔵はける。  
山翁 やれやれ、不器用な男だ。お前に勝るとも劣らずだなー？半助  
半助、続いて苳吉も登場。  
苳吉 半兄！やっぱ団兄は・・・！  
半助 ・・・・ふん（はける）  
苳吉 半兄！（追ってはける）

山爺  
・・・(溜息)

隠密登場し、山爺に耳打ち。

山爺  
・・・(うなづく)

隠密はけ、そして山爺もはける。

二場(最上城)

里見民部登場。

民部  
吉継！吉継はいずこぞ！？

吉継、登場。

吉継  
ここに。里見民部様

民部  
どこへ行っておったのじゃ吉継！？

吉継  
それはこちらの台詞。また城を抜け出して・・・

民部  
吉継！いつじゃ？いつになれば余がこの国を治める日がやってくるのじゃ！？

吉継  
藩主、最上義光様がお亡くなりになれば

民部  
それはもう聞き飽きた！

吉継  
しかし義光様は影武者を立て行方知れず

民部  
それも聞いた！

吉継  
・・・おや、ではどこまで話しましたか・・・

民部  
義光の所在が知れたと言うておつたろう！

吉継  
ああ。しかしそれもだいぶ前の話

民部  
ならば！なぜさつさと討たん！？

吉継  
場所ほどの辺り、までは知れましたが、誰、とまでははっきりせず

民部  
ならばその一带、皆殺しにしてしまえばよいだろう！！

吉継  
ええ、その通りでございます

民部  
な、何・・・？

吉継  
義光様は、出羽の国を乗っ取らんとする私たちの存在に気づき姿を眩ました。私たちが裁かれないのは、おそらく藩の混乱を防ぐ

民部 ため。しかしそれはこちらも同じ。誰の仕業と悟られず、最上義光を捜し出し討たねばならない。……ここまでお分かりですか？

吉継 ……

民部 で、手は見つかつたのか？

吉継 今ことを謀（はか）つておりますゆえ、しばしお待ちを

民部 お待ちを待ちをとお前はいつも……！！

吉継 おや？そろそろ、お勉強のお時間では？

民部 ……っ！！ああ嫌じゃ嫌じゃ！

吉継 わがままを。算数道徳図画工作。民部様はまだまだ勉強が……

民部 余は！！誰かが余の上に立つことが我慢ならん！

吉継 そつちでしたか

民部 一刻も早く、最上義光を討ち！この国を余のものにしてみせ

よ！！よいな！！？

民部はける。

吉継 上に立たれるのが我慢ならん……。同感です

隠密登場。

吉継 準備は？……うむ（手を掲げ、下がれの合図）

隠密 ……（うなずいてはける）

吉継 やはり、人斬り団蔵。何という幸運……。くくく。十年ぶりに、また働いていただきましょう……

吉継はける。

三場（アジト入口）

馬&鹿登場。

馬&鹿 ……

馬 ヒマだな

鹿 うん

馬 ……

鹿 この前……

馬 ……

鹿 同窓会があつたのだ……

馬 ……脈絡がさっぱりだけど、とりあえずどうぞ

鹿 ……皆、立身出世して、立派になつていた

馬 ……すごいねえ

鹿 ……そしてこう聞くのだ。「馬乃進、お前今何やってんの？」

馬 ……「俺？ああもう働いてるよ？うん、野党の見張り番？」

鹿 ……「あれ、この前野党のボスだつて言つてなかつた？」

馬 ……「まあそうなんだけど、いや別に威厳が無いとか形だけとか下つ

鹿 ……端に顎で使われてるとか全然そういうんじゃないやなくてえ」

馬 ……「まあとりあえず仕事に就きつつくでもすぐやめる予定くみたい

鹿 ……な？本当の自分を探してるとって感じかなあ」

馬 ……鹿衛門、何かしなければいかん。そう思わんか？

鹿 ……馬乃進、何もしなければいい。そう思わね？

馬 ……鹿衛門

鹿 ……どうした馬乃進

馬 いや、やっぱりいい・・・

団蔵登場。堂々と通る。  
馬乃進、鹿衛門と団蔵目が合う。

団蔵・・・  
馬&鹿・・・

団蔵無視して歩き出す。

馬&鹿 ちよちよちよ！え？え？え？え？

団蔵 あん？何だ？

馬 何だと言うか・・・

鹿 え？何？どうしたいの？

団蔵 野党のアジト？

馬&鹿 ……(頷く)

再び歩き出す団蔵。

馬&鹿 いやいやいやいやいやいや！！

団蔵 あ？

馬 いやあの、私たち・・・

鹿 覚えてます？

団蔵 知るか。野党を潰しに来た。通るぞ

馬 ちよーつとそれはっ！

鹿 勘弁して下さいほんと！

団蔵 ……

馬 えくとその、人に見せるようなアジトでもないしくみたいな？

鹿 今中スゴイ散らかっててえ、マジ恥ずかしいくみたいな？

団蔵 ……。(二人を指して) ああ

馬鹿 ああ？

団蔵、鯉口を切る。

馬鹿 わーっ！！

鹿 ……ん？アレもお仲間ですか？

団蔵 あ？どれ？

袖(もしくは何か装置の影)から覗いている、半助(西洋人風

変装 ver.)と、芯吉(花魁風変装 ver.)登場。

半助 (取り出した紙を見つつ)へ、へえい、みすぐりーん、はうあ

うちゅー・・・

芯吉 初会(しょかい)であります。おしんといひんす。よろしくお願

いしんす

馬 ……

鹿 ……やっべ好きになりそう

馬 う、ううん！よし。そういうことなら・・・

団蔵 どういうこと？

馬 ついてこい！

鹿 (馬に引きずられながら)あの、これしか持ってないですけど、そ

れたとどれ位・・・あ、オプションとか・・・？

馬、鹿を連れてはける。

何食わぬ様子で後に続くとうする半助、芯吉。

団蔵 待てやコラ……！（後ろ襟を掴む）

芯吉 いっ、やあ！やめてえ！

団蔵 やかましい！半助に……芯吉つつたな。何のつもりだ？

半助 放せ馬鹿者！野党は私たちが討つ！貴様はとつとと失せろ！

芯吉 団兄一生の頼みだ！俺だも一緒に……！

団蔵 ……てめえらな

芯吉 この村は！一度滅んだ……！！

団蔵 ……！！

半助 芯吉！！

芯吉 俺だは何も出来ねで……。半兄と誓ったんだ！村は、俺だ二人で守るって！

団蔵 ……

芯吉 俺だなりの、笹谷村の生き残りとしての、これは意地だ！

頼む！団兄！！

団蔵 ……なら俺に頼るのはお門違いじゃねえか？

半助 芯吉！やはり私たち二人で……！！

芯吉 仕方ねえ俺だ弱いんだがら……！！

半助 ……？

芯吉 でも村は守りだい！可笑しいか？可笑しいぞね？やっぱ……

半助 芯吉……

団蔵 ……なあ。その気持ちを汲んでやることで、お前らいくらか救

われんのか？

団兄……？

団蔵 ……。まあなんだ？実は桃太郎も二番目に好きな話だし。お伴

がいても悪くねえつつうか……ん？

芯吉 ……ぐすつ、ありがてえ……（泣く）

団蔵 あ、ああ……！？

芯吉 ありがてえ……。ありがてえよ……。村ば守ろうって言って

も、皆笑うしよお……。村ば出でぐしよお……。力かしてける

あで言うの……。団兄が初めてで……。俺嬉しくて……

芯吉、団蔵に抱きつく。

団蔵 つておい！

芯吉 団兄くずぎだあ

団蔵 放せ気色悪い！！

半助 おい待て！私はまだ認めていないぞ！

芯吉 よっしゃ行くべ団兄！半兄！

芯吉はける。

半助 おい芯吉！！

団蔵 ……へ。まあそう固く構えんな

半助 はあ？

団蔵 何故村に来たかを考えれば……。そうすることも意味の一つ。そ

う思っただけだ

半助 え……？

芯吉・声 団兄——！半兄——！

団蔵はける。

半助 ……ええい！くそ！

半助、追ってはける。

四場（野党のアジト）

野党、ぞろぞろと登場。

酒を飲む者達、刀の刀身を眺め笑い合う者達。

団蔵、半助、苾吉、馬&鹿に連れられ登場。

鹿 聞けい！野郎共！

馬 異国の者が、女を連れてやって来たぞ！

野党 おおっ！

団蔵、半助、苾吉に目配せ。

「ええっ？俺？」と反応する半助、苾吉。

団蔵 ……ほ、ほら、何か

馬 何か？

団蔵 何！……かあ……なあ……な……何考えてやがる……！！

（苾吉を殴り飛ばす）

苾吉 ぎゃーっ！！

野党 ……？

団蔵 棒みたいに突っ立って、お客さん喜ぶと思つてののか！？

半助 （紙を見ながら）れ、れっ！さーびす！

鹿 （苾吉に駆け寄りながら）おいおい！そんな乱暴しなくてもいいじ

やんかよ！？大丈夫ですか？

苾吉 お優しい、あんさんでありんす……

鹿 うっ……

野党 おお……

思わず抱きしめようとする鹿衛門のおでこを指でちよんと押す苾吉。

鹿 あふんっ……

野党 おお……！！

野党共、自分もしてもらおうと苾吉に群がる。

一人なかなか輪に入れない馬乃進。

団蔵 やっぱ間違いな

半助 この刀は……

団蔵 どれも新品だ

半助 ならばやはり

団蔵 しかし出どころがわからねえ……

馬 （団蔵と半助に）あの一つかぬことお聞きするが……

団蔵 最上の家紋でも入つてりやあな

半助 最上！？

団蔵 いやものの例えだけだよ

馬 連れてきた女子というのは、あれ一人しか……

半助 ならばいまいし

団蔵 調べてみねえことにはな

馬 あのー！

団蔵 （同時）うるせえな！！

半助 （同時）うるせえな！！じゃなかったしやらーっ！

半助勢いで変装をといてしまう。

声に驚き一同半助たちを見る。  
慌てて変装を戻す半助。

一同

馬 …… (恐る恐る半助に近づく)

団蔵 …… (汗)

半助 …… (汗)

馬が手をかけると、半助の変装がとれる。

一同

団蔵 …… てへっ☆

団蔵、馬をぶん殴る。

そのまま大乱闘へ。

必死の半助、勝てもせず負けもせず程度。

団蔵、フオローしつっ戦う。

忖吉はなんか面白いことしてる。

団蔵たち、野党達を粗方(あらかた)倒す。

鹿 お、お忖吉さん!!

忖吉 あんさん、また今度

鹿 あふん……

団蔵 (野党の胸倉を掴み上げ) おい、武器をどうやって手に入れた?

誰がお前らに流してた!?

銃声。団蔵の掴んでいた野党が撃たれる。

忖吉 うわっ!?

半助 何!?

団蔵 誰だ!

最上兵 団蔵!!

最上兵 お縄を頂戴する!!

最上兵がなだれ込んでくる。

最上兵に次々と殺される野党。

忖吉 なんだなんだ……!? 何がどうなってるんだ……!?

半助 最上兵……!?

団蔵 こいつぁ……一体……!?

最上兵 ぐああああ!!

一同、一斉に声のほう(舞台奥)を向く。

刀に貫かれたまま最上兵。

不動登場。

最上兵 な、何だ貴様——!!

最上兵 か、構わん! 斬れ斬れ——!!

不動のまとうただならぬ空気に臆しながらも、斬りかかる最上兵たち。

不動、倒れている最上兵から刀を抜く。まるで興味の無いものを掃うかのように、最上兵を斬り伏せる。

一人、息のある野党が不動に近づく。

野党 はあ、はあ……た、助けてくれ

野党 はあ、はあ……た、助けてくれ

不動、その野党に刀を突き刺す。

野党 ぐあ……!?

鹿 ひ、ひい!!! (逃げ出す)

馬 うああああ!!! (逃げ出す)

半助 ふ……不動……

芯吉 だ、団兄……!……!……!……!……!……!……!

団蔵 嘘だろ……!……!……?てめえは……!……!……?

団蔵を見やる不動。

途端、いきなり団蔵に斬りかかる。

不動の剣は先とは別人のように激しい。

対して団蔵の剣は鈍く、防戦一方。

そして団蔵に完全な隙ができる。

芯吉 団兄いー!!

しかしその瞬間、不動下がる。

それとほぼ同時に響く銃声。

吉継、鉄砲を構えたまま登場。

不動、もう一度団蔵に斬りかかろうとする、と同時に吉継発砲

(不動の足元を撃つ)

不動 ……

不動はける。

半助 金居様……? ……

芯吉 団兄!大丈夫だが!?(駆け寄る)

しかし吉継の合図で最上兵登場し、団蔵は捕えられる。

団蔵 おい!何のまねだ……!……!……?

吉継 ……(連れて行くよう指示)

団蔵 おい!てめえ!(連れて行かれる)

芯吉 団兄!……!……!……!……!……!……!……!

半助 金居様……これは……

吉継 怪我など、されていませんか?

半助 は……? ……?

吉継 よかった。安心しました

芯吉 金居様!!一体何がどうなってんだぞ!?

吉継 団蔵を、捕えに来ました

芯吉 なっ……? ……?

半助 捕え……? ……?

吉継 野党退治に向かうと聞いていたもので。すみません。言い方はあ

れやもしれませんが、野党を斬ったのはついででして

半助 いや、あの……

芯吉 ちよつと待はず!だって、見逃してけるって……!

吉継 何でも屋団蔵。いや、人斬り団蔵

芯吉 だがそれは!

半助 村のためならばと……

吉継 違います

半助 違ふ……? ……?

吉継 団蔵という男。どうやらかつては、その筋では名の通った殺し屋

芯吉 殺し屋……? ……?

吉継 斬った人間数知れず。その冷酷さは、あらゆる者を恐れさせた

半助 そ・・・！

芯吉 そんなはずねえ！だって・・・団兄は俺だの気持ちば・・・手ば貸してけるって！！

吉継 十年前、笹谷村は一人の殺し屋によって滅ぼされた

芯吉 え・・・？

半助 金居様！まさか・・・！？

吉継 私が団蔵を捕らえたのは、あの男がかつて、笹谷村を襲い、村人を斬り殺した大罪人だからです

照明轉換。

半助、芯吉はける。

五場（最上城）

里見民部登場。

民部 吉継！吉継はいずこぞ！？

吉継 ここに。里見民部様

民部 まだか！？まだこの国は余のものにならないのか！？

吉継 民部様はおっしゃいました。場所さえ知ればその場所

ごと消せばよいと

民部 は？・・・うむ

吉継 では、我々の狙いを誰にも悟られず、そうするには？

民部 はあ？よう意味が・・・

吉継 思案しておりました。賊にやらせようかとも思いましたが、な

なか上手くゆかず。このままでは・・・

民部 どうにもならんではないか！

吉継 と思っておりました・・・が

民部 手があるのか！？

吉継 全ては、この吉継にお任せを

民部 国が余のものに！？

吉継 近々

民部 おおっ・・・おおっ！！本当だな！？この、出羽の国が、余のものに・・・！おお・・・！！祝いじゃ！誰か！誰か酒を持って！

吉継 お酒はまだ駄目です

民部 祝いじゃ祝いじゃ！！ははは！！

民部はける。

\* \* \*

団蔵、縛られて登場、牢に投げ込まれる。  
団蔵、痛めつけられ意識が朦朧（もうろう）としている。

六場（牢）

吉継 お久しぶりです。で、正しいかどうか……くくく。会うのは初

めてでしたが、お顔を拝見出来て嬉しい

団蔵

吉継

もうしばし、このままでいてください。大丈夫。牢を出る頃には、  
全てが終わっているでしょうから。くくく……はははははははは！

吉継はける。

馬乃進（看守 ver.） 登場。

団蔵

……ん、うう……（目を覚ます）。ん？ん？（縛られ牢に入  
れられていることに気づき）おい！何がどうなってるんだ？おいお

めえ！

馬 ……（落ち込み）

団蔵

おら見ろこれ。縛られ癖がついたらどうしてくれんだ？そつちに  
目覚めちまったらどうしてくれんだ？おい！

馬 （ちらと団蔵を見て） ……はあく  
ああくそ……

団蔵

鹿衛門（看守 ver.） 登場。

19

鹿 （馬乃進の耳元で） お忠でありんす

馬 うわああああ！

鹿 かつつか

馬 ……はあく

鹿 どつたの？

馬 同窓会があったのだ……

鹿 ……また？

馬 そしてかつての友がこう聞くのだ……。 「何？お前まだ野党とか

やってるの？」

鹿 「いや、とりあえず就職したよ。牢屋の看守みたいな仕事？嫌でも

手に職をつけなきゃって感じで」

馬 そうすると、かつて想い人だったヒトがこう言うのだ……

鹿 「それってどうなのかな？たとえ今が苦しくても、夢を追いかけて、  
がむしやらに頑張る！そういうヒトが、私は好きだな・・・好きだ  
な・・・好きだな・・・」(セルフェコー)

馬・・・(落ち込む)

鹿 人生、また間違えたか

団蔵 んなことねえよ！

馬&鹿 ！？

団蔵 (起き上がり)女の言った好みの男と、自分がちよつと違うくら  
いで何だ。いいか？本当にいい男ってのはな、女の理想になろう  
とする男じゃねえ。てめえの理想になろうとする男のことだ

馬 てめえの、理想・・・

団蔵 大したもんじゃねえか。賊から足洗って真つ当な仕事に就くな  
ざ、誰にも出来ることじゃねえ。かつこいいぜ？今のお前

馬 な、ならば！あの子もいつか、振り向いてくれると！？

団蔵 お前がいい男になって、その女もいい女だったら、な

馬 お、おおう・・・！(号泣)

鹿 あれ、可笑しいな・・・目から汗が出て来やがった・・・

団蔵 お前ら、よくやったよ

馬 団蔵の旦那！

鹿 旦那！

団蔵 俺達、気い合うな。だからつうわけじゃねえが・・・この牢屋  
のKeyも、貸してくれねえか・・・

馬&鹿

馬・・・。わかったごめん今の無し！悪かったマジで！ねえ！

ちよつと聞いて！ねえってば！

忠吉(女装 ver.)、登場。

忠吉のあまりの妖艶さにデレデレになる馬&鹿。

馬、忠吉から鍵を奪われるが抵抗できない。  
馬、鹿、花束を差し出す。

忠吉 わつち、そんな軽い女じゃありません。花束で女口説こうなんて、  
古いを通り越して気持ち悪いであります

馬&鹿 ・・・・！！(ガーン)

忠吉 であつても。そんなあんさんたちのこと、ちよつと愛らしいって、  
思つてありませんよ♥

馬&鹿 くくくくくッッッ・・・うわあくん・・・(泣)

馬、鹿、はける。

団蔵 忠吉！助かった！

忠吉 ・・・・

団蔵 ？・・・忠吉？

忠吉 団兄・・・いくつか聞きたい

団蔵 あ？

忠吉 不動を見たとき、団兄は野郎を知ってるふうだっけ。あれは

団蔵 そ、そうだったか？まああれだけ使う奴だ。仕事柄、どつかで会  
つてもおかしくねえ

忠吉 あいつは笹谷村のもんだ。昔村八分にされたって話だ。笹谷村の  
もんしか、あいつば知らねえ

団蔵 ・・・・

忠吉 団兄は、殺し屋なんだか？

団蔵 ！？・・・何言つてんだ？

忠吉 金居様が

団蔵 忠吉。あの野郎は信用ならねえ。野党をとつちめると同時に最上  
の兵がなだれ込んで来やがった。いくら何でも出来過ぎてる！や

つらの武器の出処（でどころ）だつてわかっちゃいねえ！事件はまだ終わってねえんだ！！だから……！！

芯吉 俺は……

団蔵 ん……？

芯吉 学もねえし剣も使えねえ。俺だにあるものは、村の生き残りとしての意地だけだ

団蔵 ……

芯吉 村ば守りだけでも出来なくて、団兄にはそれが出来て……

芯吉、鍵を開ける。

芯吉 （声を明るく）確かに団兄の言う通り、腑に落ちねえごぼっかりだ。事件はまだ終わってねえ

団蔵 ……

芯吉 俺も半兄も、悔しくて、憧れっただんがらな。信じていいんだべ？

団兄

団蔵 芯吉……

最上兵の怒号が聞こえてくる。

団蔵 何だ……？

芯吉 やべえ見つかつた！兵が来る！

団蔵 ええ！？

芯吉 心配いらねえ！

団蔵 あ？

上、下から爆音。

芯吉 誰も入ってこれねよう、入り口塞いどいだ

団蔵 おお。……ん？入り口？おい！？

芯吉 （反対を指し）大丈夫！こつちも抜けられんだ！早く！

二人、奥手にはける。

SE（瓦礫の崩れる音）

吹き飛んで戻ってくる二人。

団蔵 ……オイ。こつちまで崩れたぞ

芯吉 （親首を立て）……（バツと胸をはだけさせる）

団蔵 イヤン（ソプラノ声）

芯吉 （胸に爆弾を団蔵に渡し、股間をばつ、と拡げる）

団蔵 イヤン（バス声）

芯吉、股間から取り出した火種で爆弾に火をつけ、団蔵、爆弾を投げる。

団&芯 ……。（無音）……？？

凄まじい爆発音。

団&芯 ……ワオ

団蔵、芯吉はける。

七場（戦場）

最上兵 団蔵が逃げたぞー！！  
最上兵 人斬り団蔵を捕えろー！！

最上兵、叫びながらはけていく。

団蔵、苳吉、辺りをうかがいながら登場し、はげようとして立ち止まる。

半助登場。

しばし無言の対峙。

半助 ……苳吉。何をやっている

半助、団蔵に向かって歩き出す。

苳吉 半兄！駄目だ待ってけろ！！

半助、止める苳吉を突き飛ばし、団蔵の胸倉を掴む。

半助 貴様が十年前……笹谷を……村の皆を……！貴様が！人斬り団蔵！！

団蔵

！！

半助 一度俺達から全てを奪い……今度また心を弄（もてあそ

ぶ……！貴様が……何もかも貴様が……！！（殴ろうとする）

苳吉 半兄……！！（半助を団蔵から引き離す）

半助 放せ苳吉……！！

苳吉 まだ決まったわけじゃねえ……！！

半助 目を覚ませ……！！この男は村の仇なんだぞ……！！なぜ庇う……！！？

苳吉

俺たちの目的は復讐だっけが……？……いつの間にか野党は退治さっで、気付いたら仇討ちだ！半兄も気づいっただべ！？話がうますぎるって！俺はこれから、何か良くないことが起こる気がしてならねえ……。団兄の力が必要なんだ……。それに団兄は俺だど命ばかりで戦ってけだ。それでも半兄は、団兄ば仇と決めつけるのが……？

半助

……っ……！！！！

団蔵の胸倉を掴む。

半助

……

団蔵

……

半助

……あああああ……！！！！（絶叫とともに団蔵を放す）……

どうしろというんだ……。それでも俺達は、お前を信じるしかないのか……！！

苳吉

団兄……。信じて言っている……。俺ださ向って、正面

きって！信じて言っている……！！……。なあ、団兄……。頼む

ず……

団蔵

苳……

不動登場。

半助

（不動に気づき）苳吉……！！

不動の刀が、苳吉を貫く。倒れる苳吉。

団蔵、不動から後ずさり。不動以外目に入らない。

半助

苳吉……！！（駆け寄る）

不動、団蔵に斬りかかる。

半助 忖吉！忖吉！！

団蔵 何で……てめえ……！！？

半助 団蔵！忖吉が……くそ、血が止まらない……！団蔵！！

団蔵 畜生……！！何で……

半助 団蔵！！

団蔵 何で俺なんだ！？俺は違う……！！てめえとは！違う！！

団蔵、不動に斬りかかる。

半助 ……っ。忖吉！！しつかりしろ！！

忖吉が息も絶え絶え体を起こす。

苦し紛れの太刀は見切られ、不動の刃が団蔵を裂く。

忖吉 団兄……？

団蔵 ……っ（倒れる）

忖吉 そんな……そんな……！嘘だっ！（起き上がろうとする）

半助 止せ！忖吉！！

忖吉 だつて半兄……こんな……！畜生……！！

不動、忖吉と半助の前に立つ。

忖吉、半助、恐怖でただ固まる。

不動が刀を振り下ろそうと掲げたそのとき、

団蔵、ゆっくりと立ち上がる。

忖吉 団っ……！！……！！？

団蔵の、刀を持ったその姿、まとう空気は不動のそれと同じ。そして不動に斬りかかる。

激しい殺し合い。

団蔵の一太刀が入り、不動はひるむ。

不動、ふらつきながら、尚も団蔵に向かっていこうとする。

山爺登場。

山爺 不動……！！

団蔵、半助と忖吉に迫る。

忖吉 団兄……！！

団蔵、半助と忖吉に斬りかかる。

半助、団蔵の刀を何とか受ける。

半助、精一杯の力で押し返す。

不動、斬りかかるが団蔵に受けられ、押し飛ばされる。

山爺 不動っ……団蔵……！！

忖吉 団兄……！！

団蔵の刀が半助忖吉に向かって振り下ろされる。

半助 団蔵……！！！！

団蔵 ……！！？

団蔵の刀が止まる。

八場（笹谷村・十年前）

火の海と化した笹谷村。  
炎の中に立つ団蔵。

団蔵 人を斬る・・・昨日も、今日も、そして明日も・・・。俺には、  
それだけ。ただ、それだけだ・・・

逃げ惑う村人たちを、次々と斬っていく。  
そこへ、山爺、最上兵、そして不動、駆けつける。

山爺 これは・・・！？  
村人 ひい！？た、助けて・・・

団蔵、後ずさりする村人を追い詰める。

不動 ……（団蔵を見つめる）

不動、フラフラを団蔵に近づく。

山爺 何者だあの男・・・待て不動！  
最上兵 止まれ！（不動の前に立ち塞がる）

団蔵は村人、不動は最上兵を、同時に貫く。

山爺 不動・・・！？  
最上兵 貴様あー！！  
村人 ひ、人斬りがあー！！

村人は団蔵を、最上兵は不動を取り囲む。

山爺 止める不動おおおおー！！

団蔵、不動、同じ動きで斬り捨てる。  
不動、団蔵、互いに向き合い、そして同時に斬りかかる。  
互いに同じ動きで斬り合う。

半助 団蔵  
半助 団兄  
団蔵 ！？

団蔵の振り返った先、半助、苴吉、  
団蔵に斬りかかるとうする不動。

山爺 不動  
不動 ！？

不動の振り返った先、山爺立つ。

苴吉 団兄は、ただ人を斬るだけが・・・？  
山爺 刀は所詮、ただの人斬り包丁  
半助 ならばお前は、何のために刀を腰にする？

村人たち、起き上がり、這って団蔵にすがりつく。

村人（屍） 団蔵・・・  
村人（屍） 団蔵・・・

団蔵 違う・・・待ってくれ・・・違う・・・

半助 都合のいい何でも屋だな

芯吉 でも村は守りだい！可笑しいか？可笑しいぞね？やっぱ・・・

団蔵 止めろ・・・

半助 笹谷を・・・村の皆を・・・！貴様が！人斬り団蔵！！

芯吉 団兄！頼む信じさせでける！

団蔵 止めろ・・・！仕方なかったんだ・・・。人を斬ることしか知ら

なかったんだ・・・誰も斬りたくて斬ってたわけじゃねえ！！

不動、団蔵に斬りかかろうとする。

山爺 不動

不動・・・？

山爺 何故その男を選ぶ？何故斬り合いを求める？

不動、団蔵に近づく。

団蔵 一緒にすんじゃねえ！！（刀を振る）

不動

団蔵 てめえが、俺・・・！？俺の、姿・・・！？違う・・・俺は・・・

てめえとは違う！！

山爺 何故に斬る？何故に生きる？

不動、団蔵に手を伸ばし、近づく。

団蔵 うあああああつ！！

不動

団蔵、幾度も幾度も不動を斬る。

不動、団蔵を斬る。

倒れる団蔵。

不動

山爺 （手を差し伸ばして）刀を預ける。お前は一度、刀を捨てて生き

る術を学ばねばならん

近づく山爺。不動後ずさり。

山爺 不動！

不動

不動、羽織を脱ぐ。

山爺 不動・・・！？

不動、片手に刀、片手に羽織。

不動

不動、羽織を地に落とす。

山爺 どういう意味だ・・・！？

不動、団蔵を見やり、そして逃げ出す。

山爺 不動！！

(羽織を拾う)・・・結局、わしは不動と、心で通じ合えなかつた。不動は刀を、お前を選んだ。お前だよ・・・団蔵

九場(最上城)

民部登場。

民部 吉継！吉継はいずこぞ！？・・・あれ！？吉継！吉継はいずこ  
！！！！

吉継登場。

吉継 くくく・・・ついにこの日が来た・・・

民部 おお吉継ここにおったか

吉継 今宵・・・最上義光を討ち・・・

民部 この国は余のものになるのだな！

吉継 団蔵は斬られた・・・しかし問題は無し・・・話は漏れていない・・・

民部 十年前のヘマは踏まない・・・今度こそこの手で・・・

吉継！吉継・・・？

吉継・・・

民部 国は、余のものだな？

吉継・・・

民部 吉・・・

吉継 ええそうですとも！！

民部 ！！(ビクッ)

吉継 民部様の世です！！国の終焉と再生！！全て我らが手で！！こ

れほど愉快なことがありますか！？

民部 そ、そうだな。うむ。愉快じゃ・・・

吉継 ・・・・では

吉継はける。

民部 よ、吉継！吉報を期待しておるぞ！吉継！頑張れ吉継！

民部はける。

十場（山爺の家）

山爺 不動は刀を、お前を運んだ。お前だよ．．．団蔵．．．かあつこ

いいう！団蔵！寝てる場合じゃないぞ！大変だ！わしがかつこ  
いい！目を覚ませ団蔵！ハッ、息が無い．．．！待つてる今助け  
る！．．．氣道確保．．．ううん、では．．．ンちゅくくく．．．

団蔵 ．．．ん？

山爺 ．．．わーい、とつてもベター

団蔵 うおわっ！？

山爺 ようっ

団蔵 あんた、山爺．．．？．．．ぐっ（傷が痛む）

山爺 かつつか。傷に障るぞ？

団蔵 ぐむ．．．爺さん、俺は．．．？

山爺 団蔵

団蔵 ？

山爺 聞きたいことがある

団蔵 ．．．。いまさら何を

山爺 何故、笹谷村に戻ってきた

団蔵 何？

山爺 不動に自分の姿を見て恐ろしくなり、逃げ出したのではなかった  
のか

団蔵 爺さん．．．何で．．．！？

山爺 笹谷を救ったとて、笹谷を滅ぼした過去が消えるわけでもなし

団蔵 ．．．

山爺 何故戻ってきた？

団蔵 ．．．俺は、箸を持つより早く刀を握って生きてきた。人を斬る

ことに疑問を持ったことはなかった

山爺 不動に、何を見た？

団蔵 命を奪う人間

山爺 ほう、それは恐ろしかろう

団蔵 あれが俺の姿と悟り、否定したら、生きる術を見失った

山爺 人など斬らねばいい

団蔵 じゃあどうやって生きればよかつたんだ!?

山爺 わしに言われてもなあ

団蔵 家族も、村も、戦に焼かれた……。生きる当てもねえガキが、

辿り着いた人斬り家業だ!!。戦乱の世のご時世、よくある

ことと笑うか!? けどな! 人を斬らないまま生きられんのか!

か!? 人を斬ることしか知らねえ俺が!。何でも屋なんか言

い訳だ! 変わらず人を斬ってきた! 何かが変わると思った! 再

び笹谷村を、今度は救うことで! けど違った……。俺はどこま

でも、醜い人斬りだ……

山爺 ……。かあつかつかつかつか!

団蔵 ……!!?

山爺 笑うかと聞いたから、笑ってやった

団蔵 てめえ……!

山爺 かつかつかつ……。家族も村も失くしたのなら、わし

も二人知っている

団蔵 ……!!?

山爺 ……あいつらは、後悔ではなく、前に進もうと必死に生きてい

るぞ

団蔵 ……つ! ……つ!!

山爺 団蔵よ

団蔵 ……?

山爺、羽織を見せる。

団蔵 そいつは……!?

山爺 そして……

山爺、背中の家紋を見せる。

団蔵 爺さん……。あんた……。!?

山爺 最上家家紋。これは、不動の羽織だ

団蔵 不動……?

山爺 不動を救ってやってくれ。故にお前を呼んだ

団蔵 あっ! あのふざけた文は!?

山爺 不動という名はわしがつけた

団蔵 おい、聞け

山爺 心がまるで動かぬような。動かざる者。故に、不動

団蔵 心……?

山爺 剣の才がある。それは一目見てわかった。しかしあいつは、命

どうか、そういったものを知らん

団蔵 ……

山爺 命を奪うためだけに創られた刀。刀は不動を愛した。あまりに危

うい。だから拾い、育てた

団蔵 ……

山爺 不動も刀を肌身離さず持っていた。わかるか? これは矛盾だ。命

がわからんくせに刀を求め、その相手を求める

団蔵 ……

山爺 わしには、結局その意味がわからなかった。団蔵。お前はどうか?

団蔵 お前ならば……

山爺 そうか……

山爺 む?

団蔵 そうだったのか……

山爺 どうした？

団蔵 今、わかった。俺も不動も、求めていたものは同じだったってことだ

山爺 同じとは？

団蔵 ・ ・ ・ 半助と苾吉は

山爺 うむ？

団蔵 こんな俺でも信じてくれた。俺が村の仇と知っても、何でも屋としての俺を ・ ・ ・ だから苾吉は俺を庇い、半助は俺の名を叫んでくれた ・ ・ ・ だから斬らずにすんだ ・ ・ ・

山爺

不動にも ・ ・ ・ あいつにもきつと ・ ・ ・

彼方から警鐘の音。

団蔵 爺さん！

山爺 この鐘は ・ ・ ・ ！？

最上兵がなだれ込んでくる。

団蔵 しつげえな ・ ・ ・ 。 何で俺の居場所がわかった？

最上兵 爺もろとも

最上兵 村人は皆殺しだ

団蔵 はあ？何言ってるんだてめえら！

最上兵 かかれ！

最上兵、山爺に斬りかかる。

団蔵 爺さん！？

山爺、最上兵を次々と投げ飛ばす。

団蔵

団蔵、一瞬呆けてから慌てて参戦。

団蔵 ったく毎度毎度、どんだけ命狙われてんだ！

山爺 毎度毎度って！？

団蔵 十年前の笹谷の一件！俺の仕事は、最上のお偉いさん！あんたを仕留めることだった！

山爺 何 ・ ・ ・ ？

団蔵 おい止まってんな爺さん！！

山爺 笹谷村が狙いでは ・ ・ ・ ？

団蔵 ・ ・ ・ つ。あんなもん、ただの目暗ましだ ・ ・ ・ ！あんたの死を、目立たなくするためのな ・ ・ ・ ！

山爺 なんと ・ ・ ・ 。なるほど。そういうことだったのか！

最上兵を全て倒す。

団蔵 おい爺さん何だ？わかんねえぞ！？

山爺 団蔵、教えよう。殺し屋団蔵の最後の依頼人。その男の名は、金

居、吉継

団蔵

山爺 さほど驚いているようには見えんな

団蔵 まあな。腹は立つし、聞きてえことは山ほどあるが、今はそれどころじゃねえ

山爺 行くのか

団蔵 なあ爺さん、俺にも使い道はあるのかなあ

山爺 使い道・・・？

団蔵 刀が、ただの人斬り包丁なのだとしたら・・・

山爺 包丁は、美味いメシ作って、誰かに食わせてやるためにあるものだ。人を斬るための包丁など有りはしない

団蔵 何のために、どう使うかなんて、俺が決めることか

山爺 難儀な話だ。わしにはわからん

団蔵 ははは・・・。・・・爺さん

山爺 うん？

団蔵 道が見えたとは言わねえ。けど今、確かにある。俺を、衝き動かす何かか

山爺 嘘偽り無しか

団蔵 故に迷いもなし

山爺 そうか。・・・笹谷を、不動を、頼む（不動の羽織を渡す）

団蔵 ・・・・礼を言う

団蔵はける。

山爺 ・・・・

山爺はける。

十一場（笹谷村）

警鐘が鳴り響いている。

忠吉、ふらつきながら登場。

半助、追って登場。

半助 待て！止める忠吉！

忠吉 半兄、この鐘は何だ？

半助 落ち着け！

忠吉 村の一大事じゃねえのがず！？

半助 忠吉！野党はもういない。小火（ぼや）騒ぎか何かだ

忠吉 村は、俺だで守る

半助 いいから寝ておけ

忠吉 団兄はもういねえんだ！！

半助 忠吉・・・

忠吉 ・・・・

半助 団蔵は、村の仇だったんだ

忠吉 それでも一度、俺だはあの人ば頼った

半助 ・・・・

忠吉 団兄がいねえと何も出来ねなんて、そんなんでは終われねえ

半助 ・・・・

忠吉 二人で張ると決めた意地だ。最期まで張り通すべ

半助 忠吉・・・。わかった。立て

忠吉 半兄・・・

SE・斬撃音

村人 ぎゃーっ！！

警鐘止む。  
銃声が響く。

芯吉 何だ？

倒れる半助。

芯吉 半兄！？

最上兵登場。半助、芯吉を取り囲む。

芯吉 半兄！しつかりしてける半兄！！

吉継登場。

芯吉 金居様……！？

吉継 今宵、全てが終わり、そして始まる……。この国の新たな夜明けです……！

半助 金居様……何故？

吉継 いいですか？この村のどこかに最上義光が潜んでいるはず。村にいる者は誰でも構いません。皆殺しにしないで

最上兵 はっ！

半助 皆殺し……？

芯吉 どういうことだず！どうして金居様が……

吉継 やかましい

芯吉 何……？

吉継 百姓風情が、少しよくしてやった程度でおこがましい。わきまえなさい

半助 金居様……どうして……！

芯吉 騙したのが！？こんなことばして、許されるわけ……！

吉継 ええ許されませんともでも大丈夫なんです！

芯吉 あ……？

吉継 これらは全て、人斬り団蔵の仕業、ということになりますから

半助 何……！？

吉継 いやあ、あの男が現れてくれたことは幸運でした。一度は皆殺しにしているのです。その殺し屋が血に飢えて再び村を……。どうです？よく出来た話でしょう？

芯吉 金居様、あんた……！！

吉継 さて、武器は刀のみにして下さい。でないと団蔵の仕業ということになりますから

最上兵、一斉に抜刀。

吉継 おや？そう言えば私が鉄砲で撃ってしまいましたか。仕方ありません……。鉄砲で撃ったことなど分らぬよう、バラバラに斬り刻むしかありませんね……

最上兵が一斉に刀を構える。

芯吉 半兄……！！

半助 くそ……！！

吉継 ……さようなら

最上兵たちが襲いかかったその瞬間、辺りの灯りが消える。

暗闇の中、無数の斬撃音。

再び灯りが灯ると、最上兵たちは倒れ、団蔵が立つ。

吉継 なぜ、貴様が……!? 人斬り団蔵!!  
半助 どうして……  
団蔵……!!

団蔵、吉継に斬りかかる。  
吉継、鉄砲を撃って牽制しつつ、はける。  
団蔵、追ってはけようとす。

半助 待つてける団兄!!  
団蔵 ……  
半助 そのつ、あつ……  
団蔵 ……すまなかつた  
半助 え……?

団蔵、半助を手当てする。

団蔵 十年前、この村を襲ったのは俺だ。騙して悪かつた  
半助 ……  
半助 村を救い、お前たちを助けることで、人斬りでない何かになれる  
ようない気がした  
半助 ……  
半助 結局、そうはならなかつたが。それでも一度、意地を通させると  
約束した。ただ、それだけ果たしたい  
二人 ……  
半助 気持ちを汲んでくれなんて言えねえ。己が満足の為は重々承知。  
半助 けど、どうか勝手を許してくれ  
半助 団兄……  
半助 おい、団蔵

団蔵 ……お前らに会えてよかつた  
半助 団兄!!

団蔵、はける

半助 半兄。団兄が、お前らに会えてよかつたつて……  
半助 ……ああ  
半助 団兄死んだべこれ……  
半助 何でだ!?  
半助 だつて! 「お前らに会えてよかつた」 「戦いに赴く」 これ死ぬパ  
ターンだべ!  
半助 ……いや  
半助 ストーリー上のセオリーだず! どうしよう半兄! 団兄死んじま  
う!  
半助 喚くな。傷が痛む  
半助 そんなこと言つてる場合じゃねえぞ! このままじゃあ……つて  
あゝ傷口が痛い!!  
半助 ……なあ半吉。勝手が許されるらしいぞ。お前ならどうする?  
半助 え? 半兄?  
半助 私はな、意地つ張りなんだ  
半助 半兄!?

半助はけ、それを追つて半吉はける。

十二場（最上城）

馬鹿登場。

馬鹿

馬 ……同窓会があつたのだ

鹿 もういいよ飽きたよそれ。好きな子は結婚して苗字変わったとか  
そういうオチでしょ？

馬 ……

鹿 ……え！？うそマジで！？ゴメン！？

袖から騒ぎの声と斬撃音。

鹿 ……？騒がしいな？

馬 ……つ。何人たりとも！この門を通ることまかりならん！

鹿 おおつ！そうだ！まかりならん♪

袖から吹き飛んでくる最上兵。

馬鹿 ぎゃーっ！！偉そうにしてすいませんでした！！

団蔵登場。

馬 ぎゃーっ！？だ、団蔵のーっ！？

鹿 だ、旦那ーっ！？

団蔵 あ？

馬 プリズンブレイクで来たんですねー！！よかった！！

鹿 そして俺らに復讐ですねー！！マジ勘弁して下さい！！

馬 病気の母がいるんですー！！

鹿 嘘だけどー！！

馬 好きな子は人妻になっちゃったんですー！！

鹿 それはホントー！！

馬 なんでマジホントー！！

鹿 勘弁して下さいイイイイ！！

団蔵 ……お前らおもしれえな

最上兵なだれ込んでくる。

団蔵 漫談家にもなれ

馬鹿 ……へ？

団蔵対最上兵の殺陣。

次々と最上兵を斬り捨てていく団蔵。

しかし一瞬、隙が出来る。

そのとき、半助、忖吉登場。団蔵を助ける。

団蔵 てめえらっ、何しにきやがった！？

半助 勘違いするな！私たちは…！！

忖吉 団兄！助けに来た！

半助 ……っ。言っただろう！忖吉！

忖吉 ああんだっけ。団兄！これは、意地だ！！

団蔵 （苦笑）……意地か！

半助 ああ、意地だ！！

団蔵 ……そうか。わかった！

団蔵、半助、忖吉、共闘。

しかし、斬れども斬れども、最上兵滅らない。

二人　．．．うおおおお！！（再び戦いへ．．．）

馬乃進　．．．っ。．．．うおおおお！！

その時、馬乃進、最上兵に斬りかかる。

鹿衛門　．．．。応おおおお！！

それに次いで、鹿衛門も参戦。

馬　旦那！！

鹿　行つて下せい！！

団蔵　．．．

馬乃進、鹿衛門、最上兵の相手をしながらはける。

芯吉　団兄！！

半助　団蔵！！．．．行け．．．！！

団蔵　．．．

団蔵、はける。

半助&芯吉対最上兵の殺陣。

半助と芯吉、何とか最上兵を斬り伏せる。

背中合わせに倒れこむ二人。

芯吉　はあ、はあ．．．。．．．やつぱ俺達は、ヒーローにはなれねな

あ。半兄．．．

半助　．．．（拳を突き出す）

芯吉　．．．。へへっ（拳を打ち合わせる）

十三場（天守閣）

団蔵登場。

団蔵 吉継ーっ！！

最上兵 何奴だ！！

最上兵 構わん！！切り捨てい！！

袖から斬撃音と悲鳴。

不動登場。

団蔵と不動、しばし無言の対峙。

団蔵、刀を納め、抜き身の不動の間合いに入る。

団蔵 ……はっ、これだもんなあ

団蔵、元の間合いに戻り、刀を抜く。

団蔵 いいぜ。お前がこいつでしか伝えられねえってんなら…来いよ。好きなだけ聴いてやる

刹那、二人の刀が交差する。

互いを心と心を刃に乗せた、壮絶な斬り合い。

互角。

幾度目かの仕切り直し。

再び二人の刃が交わろうとした瞬間、響く銃声。

崩れる不動。

団蔵 不動！？

民部、震える両手で鉄砲を構えながら登場。

民部 ひっ…！ひい…！国…この国は…よ、余のものだ…！

吉継・声 良くできました民部様

吉継、登場。

団蔵 吉継…！！

吉継 動かないで下さい。全く、たかが駒の分際で、よくもこれだけ邪魔をしてくれたものです。駒の動きを邪魔したあなたも同罪ですねえ（不動に）。私、少々怒ってます

団蔵 てめっ…！！

吉継、団蔵の足と腕を撃ち抜く。

団蔵 がっ…！！…！！

吉継 動かないでって言ったじゃありませんか。人斬り風情が、何のつもりか知りませんが

吉継、団蔵の腕を踏みつける。

吉継 手間を掛けさせてくれるものです。ではこういうのはどうでしょう？笹谷村を皆殺しにした大罪人団蔵は捕えられ、無様にもさら

し首にされた…ふむ、これは良い

団蔵 てめえ…っ！！

吉継、鉄砲を取り出す。

吉継 色々と、御苦勞様でした  
不動 ……!!

吉継が引き金を引こうとした刹那。  
不動、吉継が鉄砲を構えた腕を斬りつける。

吉継 があっ!?

団蔵 !?

吉継 きさつ、貴様!! ……おのれえ ……!!?

民部 よ、吉継!?! うあああああ!!

民部、鉄砲を構える。

団蔵、民部に刀を向ける。

民部 ひいひいひい!!? (尻もちをつく)

吉継 ……ふ、ふざけるなああああ!!

吉継、鉄砲を取り出て構える。

不動が吉継の鉄砲を弾き、団蔵が斬る。

団蔵 はあつ ……はあつ ……。 ……不動!

民部 ひいひい!?

団蔵 !?

民部、慌てて鉄砲を拾い、構える。

民部 し、死ね ……死ねえーっ!!

団蔵 ……っ!

山爺、最上兵登場。民部を捕える。

民部 ひいひい!?! い、嫌だ! 国は、余のものだ ……! 放せ! 嫌だ ……!  
嫌だああああああ!!

最上兵、山爺の指示で民部を連れて行く。

団蔵 遅えよ爺 ……

山爺 不動!?! どうした、撃たれたのか!?! 大丈夫か!?!

不動 ……

不動、団蔵を見つめ、そしてはける。

山爺 不動!

団蔵 ……

山爺 ん? 団蔵。お前も撃たれたのか

団蔵 ああ。別に大したこと ……

山爺 そうか。お大事に

団蔵 爺イてめえ ……

山爺 大義であった。感謝する、団蔵

団蔵 ……けつ

忖吉・声 団兄!!

馬鹿・声 旦那!!

山爺、はけようとする。

団蔵 おい爺さん!

山爺 不動に伝えて貰えんだろうか。いつでも、帰ってこいと

団蔵 ……ああ

山爺はける。

半助、苾吉、馬鹿登場。

団蔵 ……

団蔵、羽織を広げて見る。

団蔵、羽織を手にはける。

苾吉 団兄く!!! (抱きつく)

馬鹿 旦那く!!! (抱きつく)

団蔵 やめろ!!! 叩つ斬るぞ!!!

鹿 (苾吉を見て) うん? こいつどっかで見た気がしねえか?

馬 うん? どこでだ?

鹿 どこだっけかなあゝ…

苾吉 (二人の耳元で) お苾でありません

馬鹿 お苾さーん!!! あれ!?! いない!?!

苾吉 団兄…

団蔵 ……ああ

苾吉、はける。

半助 ううん。そういえば向こうで、美しい女子を見かけた、な?

馬&鹿 (顔を見合わせ) お苾さーん!!!

馬、鹿、はける。

半助 団蔵 (こぶしを突き出す)

団蔵 ……へっ (こぶしを打ち合わせる)

半助 達者でな…

半助、はける。

十四場

馬之進、鹿衛門、漫談家のいでたちで登場。

馬 そんなこんなで一件落着  
鹿 笹谷村の大騒動  
馬 その後村は平和になり  
鹿 皆幸せに暮らしたとか  
馬 話変わって此度の悪役  
鹿 最上家家臣見民部  
馬 ほんとにいましたこの人物  
鹿 義光公への謀反がばれて  
馬 やっぱり裁かれちゃったとか  
鹿 それはそれで歴史のロマン  
馬 この物語はフィクションです  
鹿 ほんとの人物、団体、事件  
馬 一切関係ございません  
鹿 ところであいつはどこ行った  
馬 この物語の主人公  
鹿 ふらりやって来た何でも屋  
馬 ふらり去ってった何でも屋  
鹿 されど行方を知る者は  
馬 誰の一人もいなかった  
鹿 ただし余談を失礼すれば  
馬 信念貫く何でも屋が  
鹿 どこかでその名を上げたとか  
馬 我らが漢劇お送りした  
馬 侍主義のチャンバラ活劇

鹿 サムライズム2009  
馬&鹿 これにてお開きで御座います

最終場

対峙する団蔵と不動。

団蔵  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
不動

刹那、抜刀。  
二人の体が交差する。

団蔵  
心配すんな。お前の心、確かに受け取った

不動、倒れる。

団蔵  
お前はただ、寂しかっただけだ

団蔵、羽織を不動にかける。  
緞帳下りる。  
団蔵、去る。

— 劇終 —